

各調査の特徴と調査結果について

調査	第1回会合での有識者からの指摘		母集団の数	男女比	年代比	調査結果	
	【共通】	【個別】		 【参考】H22国勢調査 (全体比%)	 【参考】H22国勢調査 (全体比%)		
意見聴取会	<ul style="list-style-type: none"> どの調査が優れている、間違っているということではなく、それぞれの特徴を踏まえて、理解していくべき。 どれか一つの調査結果、特に支持率の数字だけに依拠して、国民の意向を判断できるものではない。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間があり、関心が高い方がこられるということで、国民の意見の縮図とは異なる。 意見が表明されるため、理屈が示されるため、ロジックが見えてくる。 	【意見表明希望者】 1,542名 【意見表明者】 136名 【会場アンケート】 1,276件	— 	 	<ul style="list-style-type: none"> 意見表明及びアンケートにおける各シナリオ支持の分布 意見表明及びアンケートにおける指摘事項 	支持率集計 (定量的面) 論点整理 (定性的面)
パブリックコメント	<ul style="list-style-type: none"> 絶対値や数値の解釈よりも、むしろ質的な分析、考え方の筋道を重視すべきではないか。 理由やロジックということを丁寧にみていくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> 強い意見を持った人ほど、コメントを出すモチベーションをもっていると思われるので、分布が、ある一方に偏る可能性が高い。 行政が十分に気がつかなかつたり、考えていなかったような様々な意見や情報を広く収集するということに大きな意味がある。それについては行政としては真摯に考慮する義務がある。 国民参加が保障されている。世論調査などに比べて、比較的若い層の意見を聞ける。 	89,124 件			<ul style="list-style-type: none"> 支持シナリオの分布 提言の内容・指摘事項 	支持率集計 (定量的面) 論点整理 (定性的面)
討論型世論調査	<ul style="list-style-type: none"> ロジックを示されるとか、示されないといった調査の特徴を認識することが大事。 こうした問題というのは、様々な情報を自分で調べれば調べるほど判断がつかなくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 最初の電話調査段階では、全国の縮図に近い母集団であるが、明らかに時間の余裕とエネルギーのある関心の高い方が討議に参加するため、国民の縮図は歪むということがある一方、議論の理屈がよく展開される。 	【電話調査】 6,849名 【討論参加者】 285名	 	 	<ul style="list-style-type: none"> 全国電話調査の結果 討論参加者の支持率の変化の動向 支持シナリオの背景や理由の分析 	支持率集計 (定量的面) 支持率集計 (定量的面) 論点整理 (定性的面)
政府協力の説明会	<ul style="list-style-type: none"> — 	—	58 団体	—	—	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果における各支持率の分布 アンケートにおける提言の内容・指摘事項 	支持率集計 (定量的面) 論点整理 (定性的面)
マスコミ等の世論調査	<ul style="list-style-type: none"> — 	<ul style="list-style-type: none"> 日本全体の縮図になっているはずである。 調査の際、その直前にニュースを見たなど、頭の表層に在るものをぱっと答えてしまう。ロジックが出てこない。 感情の分布だけで物事が決まってしまうのであれば、政治はある意味で不要ということになってしまう。 政治的な発言の機会がほとんどない、もしくは少ない一般の有権者の声を聞くということで重要。但し、政策決定をする上で、判断の最重要のものと考えない方がよい。判断根拠のうちの一つと考えてもらった方がいい。 	各調査、1,000人～2,000人を対象としている。	調査毎に手法は異なるが、基本的に、母集団の設定や補正等により、できる限り全国実績に近い比率を実現。	—	<ul style="list-style-type: none"> 支持率の違い 	支持率集計 (定量的面)

縮図

調査	縮図						知識の提供	ロジック
	アクセスの容易さ	無作為抽出	【参考】H22国勢調査(全体比%)	男女比別	【参考】H22国勢調査(全体比%)	年代比別		
意見聴取会	△ (申込と移動、出席の時間とコスト)	×	意見表明希望者 —	—	21.4 23.2 55.3	~30代 69.3%(57.3%) 40代~50代 12.8%(20.0%) 60代~ 14.6%(18.7%) 3.3%(4.0%) 福島を除く	△ (事務局からの説明)	あり
			意見表明者 21 78	43.5% 76.2% 23.5% 9.5% 24.7% 9.5% 8.2% 4.8% 福島を除く	28.7 21.3 50	~30代 45.8%(33.3%) 40代~50代 45.8%(66.7%) 60代~ 4.2%(0%) 4.2%(0%) 福島を除く		
			会場アンケート 28 72	27.7% 56.2% 2.7% 1.2% 7.7% 0.6% 61.9% 42.0%	22.7 20.2 57	~30代 32.2%(20.0%) 40代~50代 4.7%(13.8%) 60代~ 6.3%(4.6%) 56.9%(61.5%)		
パブリックコメント	○ (提言のコスト)	×	44 56	84.2% 90.5% 1.5% 0.6% 9.4% 6.8% 4.9% 2.1% ※法人・無回答を除く	25.6 31.1 43.2	~30代 90.3%(85.3%) 40代~50代 1.6%(2.6%) 60代~ 5.2%(9.0%) 2.9%(3.1%)	×	あり
			電話調査 47 53	25.6% 27.8% 14.9% 13.8% 11.4% 8.5% 48.1% 50.0%	47.6 16.8 35.4	~30代 21.7% ※T1(電話調査) 40代~50代 20.6% 60代~ 14.4% 43.4%		
			討論参加者 33 67	40.3% 59.6% 14.7% 17.0% 18.3% 2.1% 26.7% 21.3%	47 15.4 37.6	~30代 52.3% 40代~50代 25.0% 60代~ 15.9% 6.8% ※T3(討議後調査)	○ (討議資料と専門家の質疑応答)	あり
政府協力の説明会	△ (申込と移動、出席のコスト)	×	—	—	—	—	△ (事務局からの説明)	あり
マスコミ等の世論調査	◎ (電話対応の時間)	○	—	—	—	—	×	なし (支持率のみ)